

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【公表番号】特表2014-511692(P2014-511692A)

【公表日】平成26年5月19日(2014.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2014-026

【出願番号】特願2014-503656(P2014-503656)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 12 Q 1/68 (2006.01)

G 01 N 21/78 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

C 12 Q 1/68 A

G 01 N 21/78 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月25日(2014.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)(i) 一つまたは複数のオリゴヌクレオチドプライマー；

(ii) ポリメラーゼ；および

(iii) 遊離アルギニン、スペルミジン、もしくはスペルミン、またはそれらの塩を含む、核酸増幅の特異性を改善するのに十分な量の作用物質を含む、核酸増幅に十分な組成物中に、核酸を提供する段階、ならびに

(b) 該核酸を増幅するのに十分な条件の下で混合物をインキュベートし、それによって該核酸を増幅させる段階

を含む、核酸分子を増幅する方法。

【請求項2】

ポリメラーゼがDNA結合ドメインとコンジュゲートしている、請求項1記載の方法。

【請求項3】

DNA結合ドメインがSso7ドメインである、請求項2記載の方法。

【請求項4】

作用物質が、非特異的な増幅産物と比べた特異的な増幅産物の相対収率を少なくとも10%増加させるのに十分な量で存在する、請求項1記載の方法。

【請求項5】

作用物質が、遊離アルギニンまたはその塩である、請求項1記載の方法。

【請求項6】

遊離アルギニンまたは遊離アルギニン塩の濃度が、約1 mM～約500 mMである、請求項5記載の方法。

【請求項7】

ポリメラーゼが、3'から5'方向のエキソヌクレアーゼ活性を実質的に欠いている、請求項1記載の方法。

【請求項8】

ポリメラーゼが、SEQ ID NO:1またはSEQ ID NO:2のアミノ酸配列を有する、請求項1記載の方法。

【請求項9】

Sso7ドメインが、SEQ ID NO:3に対する少なくとも75%のアミノ酸配列同一性を有する、請求項3記載の方法。

【請求項10】

組成物が、20 ~ 37 の場合に1あたり0.027 pH単位未満の変化を(0.1 Mの濃度で測定した場合に)有する緩衝液を含む、請求項1記載の方法。

【請求項11】

緩衝液が、HEPES、ACES、PIPES、MOPSO、BES、MOPS、TES、TAPSO、POPSO、BICINE、TAPS、およびAMPSOからなる群より選択される、請求項10記載の方法。

【請求項12】

(a)(i) 一つまたは複数のオリゴヌクレオチドプライマー；および
(ii) 少なくとも20単位/反応の濃度で存在する、ポリメラーゼを含む、核酸增幅に十分な組成物を、核酸に提供する段階、ならびに
(b) 該核酸を増幅するのに十分な条件の下で該組成物中の該核酸をインキュベートし、それによって該核酸を増幅させる段階を含む、核酸を増幅する方法。

【請求項13】

ポリメラーゼがDNA結合ドメインとコンジュゲートしている、請求項12記載の方法。

【請求項14】

DNA結合ドメインがSso7ドメインである、請求項13記載の方法。

【請求項15】

組成物が、遊離アルギニンまたはその塩をさらに含む、請求項12記載の方法。

【請求項16】

遊離アルギニンまたは遊離アルギニン塩の濃度が、約1 mM ~ 約500 mMである、請求項15記載の方法。

【請求項17】

ポリメラーゼが、3'から5'方向のエキソヌクレアーゼ活性を実質的に欠いている、請求項12記載の方法。

【請求項18】

ポリメラーゼが、SEQ ID NO:1またはSEQ ID NO:2のアミノ酸配列を有する、請求項12記載の方法。

【請求項19】

Sso7ドメインが、SEQ ID NO:3に対する少なくとも75%のアミノ酸配列同一性を有する、請求項14記載の方法。

【請求項20】

組成物が、20 ~ 37 の場合に1あたり0.027 pH単位未満の変化を(0.1 Mの濃度で測定した場合に)有する緩衝液を含む、請求項12記載の方法。

【請求項21】

緩衝液が、HEPES、ACES、PIPES、MOPSO、BES、MOPS、TES、TAPSO、POPSO、BICINE、TAPS、およびAMPSOからなる群より選択される、請求項20記載の方法。

【請求項22】

ポリメラーゼ；および
遊離アルギニン、スペルミジン、もしくはスペルミン、またはそれらの塩を含む、核酸增幅の特異性を改善するのに十分な量の作用物質を含む、反応混合物。